



令和4年9月12日
内閣府（防災担当）

令和4年防災功労者防災担当大臣表彰の受賞者決定について

標記について、別添のとおり受賞者が決定しましたのでお知らせします。

※ 防災功労者防災担当大臣表彰は、災害時の防災活動の実施、防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として表彰するものです。

【本件問合せ先】

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（総括担当）付 西川、中川、鈴木

電話：03-3593-2844（直）

令和4年 防災功労者防災担当大臣表彰受賞者名簿

○ 個人

〔防災体制の整備〕

- | | | |
|---|-----|-------|
| 1 | 安井清 | (京都府) |
| 2 | 牧紀男 | (兵庫県) |
| 3 | 阿部恵 | (徳島県) |
| 4 | 清水洋 | (長崎県) |

〔防災思想の普及〕

- | | | |
|---|-------|-------|
| 5 | 杉山信行 | (静岡県) |
| 6 | 高橋保夫 | (静岡県) |
| 7 | 山崎勝 | (静岡県) |
| 8 | 矢田部龍一 | (愛媛県) |

○ 団体

〔防災体制の整備〕

- | | | |
|----|------------------|--------|
| 9 | 西成瀬地区自主防災連合会 | (秋田県) |
| 10 | 米野木区自主防災会 | (愛知県) |
| 11 | 城巽学区自主防災会 | (京都府) |
| 12 | 自治会自主防災会・臨海企業連絡会 | (和歌山県) |
| 13 | 東西町地域振興協議会 | (鳥取県) |
| 14 | 八万地区自主防災会連絡協議会 | (徳島県) |
| 15 | 南井上地区自主防災連合会 | (徳島県) |

〔防災思想の普及〕

- | | | |
|----|------------------------|----------|
| 16 | 青森地域防災協会 | (青森県) |
| 17 | NPO法人デックタイグループ | (栃木県) |
| 18 | 尺土自主防災組織協議会 | (奈良県) |
| 19 | 一般社団法人高梁青年会議所 | (岡山県) |
| 20 | 小河原・上深川地区社会福祉協議会 | (広島県) |
| 21 | 和歌山県障害者支援赤十字奉仕団グループあかり | (日本赤十字社) |

〔災害時の防災活動〕

- | | | |
|----|----------------|-------|
| 22 | 安東亜ハイツ自治会 | (広島県) |
| 23 | 春日野学区自主防災会連合会 | (広島県) |
| 24 | 伴学区自主防災会連合会 | (広島県) |
| 25 | 古田台学区社会福祉協議会 | (広島県) |
| 26 | 山本小学校区自主防災会連合会 | (広島県) |

以上、26件(8個人、18団体)

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

| | |
|------------------|--|
| 推 薦 者 | 京 都 府 |
| ふ り が な 氏 氏 名 | やすい きよし 安井 清 |
| 住 所 | 京都府城陽市 |
| 職 業 | 自営業 |
| 功 績 の 概 要 | <p>氏は、平成10年度から市で備蓄するためのガス機器の寄付を毎年行っており、現在のところLPガス3連コンロ131台、大型炊飯器29台、大鍋15個、寸胴6個、LPガス用自家発電装置8セットにのぼっている。また、平成22年度から毎年9月1日の「防災の日」に合わせ、小学校等に備蓄しているコンロやバーナーの奉仕点検を継続的に行い、防災体制の整備に多大な貢献をしている。</p> |

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

| | |
|------------------|---|
| 推 薦 者 | 兵 庫 県 |
| ふ り が な 氏 氏 名 | まき のりお 牧 紀男 |
| 住 所 | 京都府京都市上京区 |
| 職 業 | 京都大学防災研究所 教授 公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災 未来センター上級研究員 |
| 功 績 の 概 要 | <p>氏は、防災計画、災害復興計画等の専門家として、兵庫県を推進する安全で安心な社会づくりに向けて、専門的見地から阪神・淡路大震災の復興施策等について提言を行うなど、兵庫県の推進する安全で安心な社会づくりに向けて、多大な貢献を果たした。</p> <p>また、南海トラフ地震による被害が懸念される自治体（和歌山県海南市、徳島県等）の事前復興計画の策定に携わるほか、文部科学大臣を本部長とする地震調査研究推進本部地震調査委員会津波評価部会委員に就任し、津波の予測手法の検討や、それを用いた津波の評価を行うなど、兵庫県はもとより、本邦の防災・減災対策の充実に多大な貢献を果たしている。</p> |

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

| | |
|------------------|---|
| 推 薦 者 | 徳 島 県 |
| ふ り が な 氏 氏 名 | あべ めぐむ 阿部 恵 |
| 住 所 | 徳島県勝浦郡勝浦町 |
| 職 業 | 勝浦町自主防災組織連絡協議会会長 |
| 功 績 の 概 要 | 氏は、平成25年4月勝浦町自主防災組織連絡協議会会長に就任し、平成29年4月勝浦防災士会を立ち上げるなど長年にわたり、勝浦町地域の防災力の向上と防災に携わる人材の育成に尽力されるとともに、積極的に防災活動へ取り組み、町としての防災への意識を大きく高めた。 |

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

| | |
|------------------|---|
| 推 薦 者 | 長 崎 県 |
| ふ り が な 氏 氏 名 | しみず ひろし 清水 洋 |
| 住 所 | 長崎県島原市 |
| 職 業 | 九州大学 名誉教授 火山噴火予知連絡会会長 |
| 功 績 の 概 要 | <p>氏は、文部科学省科学技術学術審議会の専門委員、臨時委員、委員を歴任して、わが国の地震予知計画と火山噴火予知計画（現在は、災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画）の計画立案に関わり、地震火山の観測研究の推進と観測体制の整備に貢献した。</p> <p>また、九州大学地震火山観測研究センターの研究者として、地震及び火山の観測データと研究成果に基づき、長年にわたり、国や自治体等に助言を行い、地震火山防災体制の整備に貢献している。特に、雲仙普賢岳噴火災害時には、同氏らの観測データが現地の緊急防災対応判断の拠り所となった。その後も、火山噴火予知連絡会や地震調査委員会をはじめ防災関係の委員会等の委員として、地震火山の活動評価とハザード想定に関わり、それらは国や自治体の防災対策に反映されている。</p> <p>さらに、雲仙火山の防災視察登山を毎年実施して、防災対策の課題及び危機意識を地元の自治体・防災機関・報道機関と共有する活動に加え、国の次世代火山研究・人材育成総合プロジェクトや自治体の防災推進員養成講座、住民と自治体の協働による防災塾などを通して、防災を担う人材の育成にも取り組んでいる。</p> <p>以上のとおり、地震火山の専門家として幅広く活躍し、防災行政における貢献度は多大である。</p> |

功 績 概 要

個人 [防災思想の普及]

| | |
|------------------|--|
| 推 薦 者 | 静 岡 県 |
| ふ り が な 氏 氏 名 | すぎやま のぶゆき 杉山 信行 |
| 住 所 | 静岡県裾野市 |
| 職 業 | 静岡県地域防災活動推進委員会委員 |
| 功 績 の 概 要 | <p>氏は、裾野市地域地震防災指導員会の指導員として多年にわたり市内自主防災組織の防災意識高揚や訓練指導に貢献している。</p> <p>自主防災会や防災指導員を対象に会長職として組織的な対応を含めた指導に努め、避難所運営ゲームHUGや災害図上訓練DIG、家庭内DIGなどを導入推進し、自主防災組織等の防災能力向上に尽力している。また指導員として、上級救命講習の受講や、防災指導員会の勉強会のみならず、防災研修などを利用し防災知識の習得に積極的に励んでいる。</p> <p>また、平成21年度には役員となり平成23年度から12年連続で会長職を務めるなど、人望も厚く、大局を見る目を持っており、指導員会をまとめ上げるだけでなく、令和3年度からは静岡県地域防災活動推進委員会委員として静岡県の地域防災の発展に貢献している。</p> |

功 績 概 要

個人 [防災思想の普及]

| | |
|------------------|---|
| 推 薦 者 | 静 岡 県 |
| ふ り が な 氏 氏 名 | たかはし やすお 高橋 保夫 |
| 住 所 | 静岡県裾野市 |
| 職 業 | 裾野市地域地震防災指導員 |
| 功 績 の 概 要 | <p>防災指導員としての経験も豊富なため、訓練では様々な指導員に頼られリーダー的役割を果たしている。また、自分の担当している地区のみならず、担当外の地区であっても防災知識の普及を図っており、心肺蘇生や三角巾、AEDの取扱いに見られる応急手当の講習、防災備蓄用品や家具転倒防止、地震体験車の指導等を通じて、参加者に理解してもらえるよう様々な工夫を凝らした啓発活動を行っている。</p> <p>また、平成22年度には役員となり平成23年からは5年連続で副会長職を務めるなど、人望も厚く、リーダーシップを発揮してきた。ベテラン指導員として積極的に防災活動の場に参加し細やかな指導を行うなど、新任防災指導員の教育や自主防災会及び地域防災の発展に貢献している。</p> |

功 績 概 要

個人 [防災思想の普及]

| | |
|------------------|---|
| 推 薦 者 | 静 岡 県 |
| ふ り が な 氏 氏 名 | やまざき まさる 山崎 勝 |
| 住 所 | 静岡県掛川市 |
| 職 業 | 自営業 |
| 功 績 の 概 要 | <p>氏は、掛川市消防団で16年間活動。その後、地区防災委員、区長、防災会長を務める。</p> <p>平成24年から掛川市と市民団体との協働で始めた地域の防災リーダーを養成する講座「防災リーダー養成講座初級編」の講師を令和3年まで務めた。</p> <p>住民目線による地域防災のあり方や、訓練方法の意識改革などをわかりやすく受講者に伝え、10年の間に延べ27回の講座で約1,000名（991名）の修了者を輩出することに貢献した。</p> <p>地域の防災リーダーとなる市民に、防災思想の普及と啓発を行っている。</p> |

功 績 概 要

個人 [防災思想の普及]

| | |
|------------------|--|
| 推 薦 者 | 愛 媛 県 |
| ふ り が な 氏 氏 名 | やたべ りゅういち 矢田部 龍一 |
| 住 所 | 愛媛県松山市 |
| 職 業 | 愛媛大学防災情報研究センター 特命教授 |
| 功 績 の 概 要 | <p>氏は、防災士養成講座の開講や大学生防災士のNPO団体「防災リーダークラブ」の結成、小学校5年生から高校生までが参加する「ジュニア防災リーダークラブ」の発足等、「防災による人づくり」に長年取り組んでいる。</p> <p>これらは地域や学校、企業も巻き込み大きな広がりを見せており、多様な視点を持つ人材の成長や、世代を超えた交流による地域活性化等、防災を超えた効果も表れている。</p> <p>特に氏の主導で令和元年度より開始した産官学民による「全世代型防災教育」は高く評価され、モデルとして全国にも発信されている。こうした氏の功績は表彰に値するものである。</p> |

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

| | |
|-------------------|---|
| 推 薦 者 | 秋 田 県 |
| ふ り が な 名 称 | にしなるせちくじしゅぼうさいれんごうかい 西成瀬地区自主防災連合会 |
| 所 在 地 | 秋田県横田市 |
| 代 表 者 (団体での職名) | 会長 きし かずはる 季子 和春 |
| 功 績 の 概 要 | <p>西成瀬地区自主防災連合会は、それまで各地域（9地域）ごとに結成していた自主防災組織が連携して活動することを目的に、平成28年4月「西成瀬地区自主防災連合会」として設立した。</p> <p>同地区は、土砂災害など災害発生の可能性が高い地域であることから、日頃から災害に対する危機意識が高く、自主防災訓練を通じて災害対応訓練や避難経路の確認などに取り組んでいる。また、自治体が主催する防災訓練に積極的に参加するほか、独自の防災研修を開催することで地域住民の防災意識の高揚が図られている。</p> <p>以上のことから、自主性と積極性を兼ね備えた組織である。</p> |

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

| | |
|-------------------|---|
| 推 薦 者 | 愛 知 県 |
| ふ り が な 名 称 | こめのきくじしゅぼうさいかい 米野木区自主防災会 |
| 所 在 地 | 愛知県日進市 |
| 代 表 者 (団体での職名) | 会長 <small>すがぬま</small> 菅沼 <small>かいち</small> 嘉一 |
| 功 績 の 概 要 | <p>米野木区自主防災会は、自主防災組織の設立から10年以上、地域のために積極的に活動を行っている。地域の防災活動を通じて地域の人々との交流を深めることが、災害時の「共助」に繋がると考え、適切に対応できるように、防災計画や災害時行動マニュアルを定め、また、防災分野における女性視点の必要性から女性防災部の設置など現在でも活動の幅を大きく広げている。中でも米野木区自主防災会防災計画には、各役員の担当任務を定め、「被害状況調査票」、「地区被害集計表」等を使用し、適切な応急処置を行えるようにしており、実際の災害時にも有効であると考えられる。令和3年度に愛知県日進市主催により開催された「避難所開設・運営訓練」においても、平常時より培ってきた情報伝達訓練やリーダーシップを発揮し、適切な避難所運営に尽力した。組織の形骸化が問題視されている中で、これらの整備状況は他の模範と認められる組織体制である。</p> |

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

| | |
|-------------------|--|
| 推 薦 者 | 京 都 府 |
| ふ り が な 名 称 | じょうそんがっくじしゅぼうさいかい 城巽学区自主防災会 |
| 所 在 地 | 京都府京都市中京区 |
| 代 表 者 (団体での職名) | 代表 <small>かがわ</small> 香川 <small>しろう</small> 史朗 |
| 功 績 の 概 要 | <p>城巽学区自主防災会は、地域の中心に、50メートルの幅がある御池通が横断していることから、南北の地域にふれあいと連帯感のあるまちづくりを目指して、防火、防災活動を活発に行っている。</p> <p>コロナ禍以前に実施していた総合防災訓練では、地域内にあるグループホームやデイサービスセンターと連携した訓練や、より実践に即した訓練となるよう、自主防災部単位で実際に起こり得る想定を付加した訓練など、形だけの訓練にとどまらない訓練を実施することで、地域住民の共助の意識の向上を図っている。</p> <p>また、近年ペットがいることで避難所へ行くことができないという事例があることから、ペットと共に避難できる避難所運営を目指し、避難所のグラウンドにペット用の避難所を開設する訓練を早くから実施している。</p> <p>そのほかにも、自主防災会長が自治連合会長を兼ねていることから、各種団体と連携した防犯・防災のパトロール、避難所や消防団の詰所がある音楽学校との連携など、各種団体との連携も活発に行われている。</p> <p>このように、地域の結束力を高める取組や先進的な取組を実践する城巽学区自主防災会は、他の自主防災会活動の模範となっている。</p> |

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

| | |
|-------------------|---|
| 推 薦 者 | 和 歌 山 県 |
| ふ り が な 名 称 | じちかいじしゅぼうさいかい・りんかいきぎょうれんらくかい 自治会自主防災会・臨海企業連絡会 |
| 所 在 地 | 和歌山県海南市 |
| 代 表 者 (団体での職名) | 会長 <small>よしかわ</small> 吉川 <small>ひろあき</small> 裕彰 |
| 功 績 の 概 要 | <p>東日本大震災を教訓に、地域の自治会自主防災会と企業が防災力強化を目的として設立し、協働して備蓄物資の整備や訓練活動などに尽力した。また、令和3年度には地域防災活動が継続できるよう、10年先を見据えた「地区防災計画」を策定し、市民が安心して暮らせるまちづくりに多大な貢献をした。</p> |

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

| | |
|-------------------|---|
| 推 薦 者 | 鳥 取 県 |
| ふ り が な 名 称 | とうざいちょうちいきしんこうきょうぎかい 東西町地域振興協議会 |
| 所 在 地 | 鳥取県西伯郡南部町 |
| 代 表 者 (団体での職名) | 会長 <small>こすぎ たつお</small> 小杉 達男 |
| 功 績 の 概 要 | <p>東西町地域振興協議会は、同会の理念である自助・共助の必要性から平時より、防火・防災意識を向上させるために、避難訓練・消火栓及び消防用ホース接続訓練・応急手当講習会・出張消火器使用講習会等を活発的に実施している。</p> <p>平成23年に発生した東日本大震災を契機に、防災体制の見直しとして各地区に「安否確認協力委員」及び「避難所対応委員」を選任され、その委員を中心に地震や土砂災害を想定した訓練を実施されました。その訓練を通して、実際の災害時に、自分の生命及び財産を守るにはどういった行動をすべきかを学習し、次にその学んだことを地域住民へ伝達していくことで東西町地域内での防災体制が構築してきた。</p> <p>また、東西町地域が土砂災害特別警戒区域(イエロー区域)の指定を受け、独自で、地域オリジナルのハザードマップや「自宅の危険度を知ろう」カードを作成し、地域住民に防災への意識を高めるよう促進されてきた。</p> |

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

| | |
|-------------------|--|
| 推 薦 者 | 徳 島 県 |
| ふ り が な 名 称 | はちまんちくじしゅぼうさいかいいんらくきょうぎかい 八万地区自主防災会連絡協議会 |
| 所 在 地 | 徳島県徳島市 |
| 代 表 者 (団体での職名) | 会長 <small>くじめ</small> 久次米 <small>じゅんいち</small> 潤一 |
| 功 績 の 概 要 | <p>八万地区自主防災会連絡協議会は、計画的に防災訓練、防災研修等を実施しており、一部が津波避難困難地域であることから地域住民の防災意識も高く、毎回多くの地域住民が訓練等に参加している。</p> <p>また、自主防災会、学校、コミュニティセンター及び消防団等の各種団体と連携し、避難場所の確保や避難経路の調査など、地域に根ざした防災活動を実施し、地域一丸となった協力体制を確立している。</p> <p>平成29年には津波避難支援マップの作成に積極的に取り組み、自らが一時避難する場所を建物所有者に対して協力依頼し津波避難ビルを確保するなど、南海トラフ地震等の大規模災害が発生した場合の被害軽減や防災体制の整備に多大な貢献をしている。</p> |

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

| | |
|-------------------|---|
| 推 薦 者 | 徳 島 県 |
| ふ り が な 名 称 | みなみいのうえちくじしゅぼうさいれんごうかい 南井上地区自主防災連合会 |
| 所 在 地 | 徳島県徳島市 |
| 代 表 者 (団体での職名) | 会長 <small>かまた</small> 鎌田 <small>ひとし</small> 仁 |
| 功 績 の 概 要 | <p>南井上地区自主防災連合会は、平成17年7月21日にそれまで南井上地区にある21自主防災組織が連携し連合会を設立した。</p> <p>結成以降、南井上地区住民自身が「自分たちのまちは自分たちで守ろう」という隣保協同の連携意識のもと、コロナ禍の中でも限られた機会をとらえて防災訓練や視察研修を行うなどの継続した活動を行い、地域防災力の向上に努めている。</p> |

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

| | |
|-------------------|---|
| 推 薦 者 | 青 森 県 |
| ふ り が な 名 称 | あおもりちいきぼうさいきょうかい 青森地域防災協会 |
| 所 在 地 | 青森県青森市 |
| 代 表 者 (団体での職名) | 会長 <small>たけなか よしみち</small> 竹中 義道 |
| 功 績 の 概 要 | <p>青森地域防災協会は、住民が安心して安全に暮らせる地域社会生活を構築するため、春、秋の火災予防運動時の火災予防キャンペーンや防火作品コンクールなどの様々な消防行事へ積極的に参加して、支援及び協力を行い、地域住民への防火・防災思想の普及啓発に尽力している。</p> <p>また、各種研修会を開催し、協会加入事業所の防災意識の向上へ大きく貢献している。</p> <p>さらに、社会公共福祉の増進への寄与のため、幼年、少年、女性防火クラブへ助成し、地域防災力の育成、向上へ大きく貢献している。</p> |

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

| | |
|-------------------|--|
| 推 薦 者 | 栃 木 県 |
| ふ り が な 名 称 | えぬびーおーほうじんでっくたいぐるーぷ NPO法人デックタイグループ |
| 所 在 地 | 栃木県宇都宮市 |
| 代 表 者 (団体での職名) | 代表 ラタナポン タナノン |
| 功 績 の 概 要 | <p>NPO法人デックタイグループは、平成21（2009）年以降、会員に対して防災に係る研修を継続的に実施している。</p> <p>日本語が十分ではなく、日本における災害の特徴を理解することが困難な外国人にとって、平常時から防災意識を高めておくことは自らの生命や財産を守る重要な手段となる。</p> <p>当グループの継続的な活動は、在県タイ人の防災意識の向上に寄与している。</p> |

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

| | |
|-------------------|--|
| 推 薦 者 | 奈 良 県 |
| ふ り が な 名 称 | しゃくどじしゅぼうさいそしききょうぎかい 尺土自主防災組織協議会 |
| 所 在 地 | 奈良県葛城市 |
| 代 表 者 (団体での職名) | 代表 <small>ますだ</small> 増田 <small>ふみやす</small> 文康 |
| 功 績 の 概 要 | <p>尺土自主防災組織協議会は、自分の身は自分で守るという意識とともに、普段から近隣住民で協力し合いながら「自助」「共助」による災害に強い区を目指し、日頃から継続した自主的な防災活動を行いながら「地区防災計画」の作成に取り組むなど積極的な活動を行っている。</p> |

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

| | |
|-------------------|---|
| 推 薦 者 | 岡 山 県 |
| ふ り が な 名 称 | いっばんしゃだんほうじんたかはしせいねんかいぎしょ 一般社団法人高梁青年会議所 |
| 所 在 地 | 岡山県高梁市 |
| 代 表 者 (団体での職名) | 理事長 <small>ひらまつ</small> 平松 <small>さとし</small> 諭史 |
| 功 績 の 概 要 | <p>一般社団法人高梁青年会議所は、平成30年7月豪雨災害後、地域の復旧・復興・発展のために何ができるかを高梁青年会議所会員同士で話し合い、市民の防災意識の向上のための活動を実施することとした。令和元年11月29日に高梁市が開催したマイ・タイムライン講習会に参加し、マイ・タイムラインの考え方や作成方法について学んだ後、市内の地域団体や小中学校において、マイ・タイムライン講習会の講師として、市民のマイ・タイムラインの作成支援を無償で継続的に実施しており、市民の防災意識向上及び地域の防災力向上に貢献している。</p> |

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

| | |
|-------------------|---|
| 推 薦 者 | 広 島 県 |
| ふ り が な 名 称 | おがわら・かみふかわちくしゃかいふくしきょうぎかい 小河原・上深川地区社会福祉協議会 |
| 所 在 地 | 広島県広島市安佐北区 |
| 代 表 者 (団体での職名) | 代表 <small>ふじもと きよこ</small> 藤本 喜代子 |
| 功 績 の 概 要 | <p>小河原・上深川地区社会福祉協議会は、地元団体や地元企業と協力し、平成30年7月豪雨災害の被害の状況を記載した自然災害伝承モニュメントを小河原・上深川集会所に設置するなど、地区内で発生した身近な自然災害の実態を広く住民に周知し、防災意識の醸成を図り、もって地域防災力の向上に努めている。</p> |

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

| | |
|-------------------|---|
| 推 薦 者 | 日 本 赤 十 字 社 |
| ふ り が な 名 称 | わかやまけんしょうがいしゃしえんせきじゅうじほうしだん 和歌山県障害者支援赤十字奉仕団 グループあかり |
| 所 在 地 | 和歌山県和歌山市 |
| 代 表 者 (団体での職名) | 委員長 えのき じゅんこ 榎 純子 |
| 功 績 の 概 要 | <p>和歌山県障害者支援赤十字奉仕団グループあかりは、視覚障害児童向けの拡大写本や布絵本の作製及び盲学校や障害児施設への作品提供などの障害児支援活動を通じて、災害弱者である視覚障害児童への防災教育の必要性を感じ、地震による物の転倒や落下の状況を手で触って実感できる立体模型教材の作製及び提供を続けている。</p> <p>また、令和3年度内閣官房国土強靱化推進室「国土強靱化の民間の取組事例」に取り上げられ、全国的にもその取組が注目されている。</p> |

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

| | |
|-------------------|---|
| 推 薦 者 | 広 島 県 |
| ふ り が な 名 称 | やすとうあはいつ じちかい 安東亜ハイツ自治会 |
| 所 在 地 | 広島県広島市安佐南区 |
| 代 表 者 (団体での職名) | 代表 <small>ゆうき</small> 結城 <small>かつみ</small> 勝美 |
| 功 績 の 概 要 | <p>安東亜ハイツ自治会は、災害の発生時において、住民からの連絡を受けて砂防堰堤からの土砂流出を確認し、消防、警察、国土交通省中国地方整備局、安西学区自主防災会連合会等の関係機関へ分担して連絡するとともに、周辺の地域住民に避難を呼びかけて回り、住民の早期避難につなげた。</p> <p>また、早めの避難を呼びかけるチラシの配付、記録誌の作成など、住民の防災思想の普及につなげる活動に取り組んでいる。</p> |

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

| | |
|-------------------|---|
| 推 薦 者 | 広 島 県 |
| ふ り が な 名 称 | かすがのがつくじしゅぼうさいかいれんごうかい 春日野学区自主防災会連合会 |
| 所 在 地 | 広島県広島市安佐南区 |
| 代 表 者 (団体での職名) | 代表 <small>ありもり えいち</small> 有森 英一 |
| 功 績 の 概 要 | <p>春日野学区自主防災会連合会は、災害発生当初から多数の避難者が押し寄せた春日野小学校において、配備されていた備蓄物資を最大限活用するとともに、小学校、区災害対策本部との連携を密にし、授乳用のテントを設けるなど避難者の立場に立った避難所運営を、効率的かつ主体的に行った。また、土砂の搬出などの復旧活動に必要な物資の手配などを行った。</p> |

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

| | |
|-------------------|---|
| 推 薦 者 | 広 島 県 |
| ふ り が な 名 称 | ともがつく じしゅぼうさいかいれんごうかい 伴学区自主防災会連合会 |
| 所 在 地 | 広島県広島市安佐南区 |
| 代 表 者 (団体での職名) | 代表 <small>かとう えいじ</small> 加藤 栄治 |
| 功 績 の 概 要 | <p>伴学区自主防災会連合会は、従前より市の指定緊急避難場所開設時に運営に協力すること、学区内の過去の災害の経験などを踏まえ、地域住民の避難をより一層促すため、自主避難場所を学区内に開設し、独自に運営している。この度の災害においても、自主避難場所を開設して避難者を受け入れ、住民の安全確保に貢献した。</p> <p>また、土砂が流入した家屋において、地域の住民に協力を呼びかけ、被災地の応急復旧に尽力した。</p> |

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

| | |
|-------------------|--|
| 推 薦 者 | 広 島 県 |
| ふ り が な 名 称 | ふるただいがつくしゃかいふくしきょうぎかい 古田台学区社会福祉協議会 |
| 所 在 地 | 広島県広島市西区 |
| 代 表 者 (団体での職名) | 代表 <small>さこい</small> 迫井 <small>みつぎ</small> 貢 |
| 功 績 の 概 要 | <p>古田台学区社会福祉協議会は、災害の発生時において、新型コロナウイルス感染症による様々な制約がある中、行政機関や民間の災害ボランティア団体等との連携を密にして、避難所での住民の安否確認、炊き出しの実施及び避難者の健康維持の活動などを行うとともに、被災現場の地図作成や被災者宅内の土砂等の撤去などの活動を行い、被災者支援や復旧に尽力した。</p> |

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

| | |
|-------------------|--|
| 推 薦 者 | 広 島 県 |
| ふ り が な 名 称 | やまもとしょうがっこうくじしゅぼうさいかいかいれんごうかい 山本小学校区自主防災会連合会 |
| 所 在 地 | 広島県広島市安佐南区 |
| 代 表 者 (団体での職名) | 代表 <small>おかの やすのり</small> 岡野 康紀 |
| 功 績 の 概 要 | <p>山本小学校区自主防災会連合会は、災害発生当初から多数の避難者が押し寄せた山本小学校において、小学校及び区災害対策本部と連携を密にし、主体的に避難所の運営を行った。</p> <p>また、事前に設置していた防災ライブカメラの画像等を基に、この度の災害の被害の様子などをまとめたビデオを作成し、様々な場面で地域の住民が目にする機会を設けるなど継続して防災思想の普及啓発に尽力している。</p> |